

公共・商業施設向け室内ドア
片開き・トイレ (ピボット丁番)
(見切枠・固定枠154/169・薄壁枠)

「施工業者様へのお願い」
●弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱い説明書」を添付しております。必ず、お施主様に手渡しいただきますようお願いいたします。
(取扱説明書は <https://www.daiken.jp/qr/manual/> よりダウンロード可能です)

- もくじ
1. 安全上のご注意
 2. 全体図
 3. 部材・部品表
 4. 施工方法
 5. 防煙区画対応 常時閉鎖式建具について
 6. 寸法図

- この製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく施工してください。
- この説明書に出てくる△注意や□施工上のご注意は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。
- 製品を廃棄する際は、法律および地方自治体の規則に基づいて適切に処理してください。

大建工業株式会社 230710-IN-189LD-KAP-STM

4. 施工方法

準備

- ◆開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- 本製品を施工する場所の地下が以下の条件に合っていることを確認してください。

1. 壁下地

木下地	○
軽鋼鉄骨下地	○*1

*1 軽鋼鉄骨下地の場合には、12mm合板、皿タッピンビス長さ50mm以上を現場手配してください。(P6参照)

2. 床下地材

木質フロア	○	二重床	○
コンクリート	○	直張床	○*2
タイル	×	コンクリート	○
クッションフロア	×	*2 厚み13mm以上	
カーペット	×	*2 クッション性のある床材にはそのまま施工できません。オトコカ (マシオン) 用敷きパッド (フロア) は施工部分の緩衝材を取除き、下地に敷き替えてください。	
畳	×		

◆枠組み立ての時の寸法公差を考慮し、開口寸法は枠外寸+5mm程度確保してください。
※詳細は図面を参照してください。

◆柱の垂直・床・まぐさの水平、下げ振り・水準器でよく確認してください。

梱包を開けて部品を確認してください。

施工の前に

枠を組み立ててください。
※同種のビスを使用してください。

2000高タイプの場合は、縦枠のカットは不要です。

※1800高タイプの場合は、現場の納まりにあわせ、縦枠下端をカットしてご使用ください。
※1800高タイプは2022年6月21日廃番。

沓摺の場合

△T型エッジを差し込まないでください。(施工後に差し込みます) **×** 差し込まない!

固定枠154・169・薄壁枠の場合

必要に応じて枠の裏側に壁ボードの溝加工を行ってください。

230710-IN-189LD-KAP-STM 5

定期的な点検項目

点検部位	点検項目	有/無	無年劣化に伴う、具体的な事象
本体・丁番	・扉の閉鎖がスムーズにいかない(扉が締まらない)。 ・丁番の止めつっビスに緩みがある。	有・無	・丁番・ピンジまたはラッチの変形や破損。 ・扉のガタつき、脱落。
レバー・ハンドル	・ガタつきがある。 ・レバー・ハンドルが下がる。	有・無	・内部部品が破損して、ドアが開閉できない。 ・錆じ込み。
ラッチ	・ラッチが滑らかに動かなくなったり、ラッチが履後まで戻らない。	有・無	・内部部品が破損して、ドアが開閉できない。 ・錆じ込み。

木質材料の性質について

木質ドアの「反り」について
木材を原料とする木質材料(合板、パーティクルボード、MDFなど)を加えて作られた内装材は、使用中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の増減(湿度)や室内・室外の温度差、湿度や気象条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、内装材の劣化や膨張・収縮による変形が大きい場合、反り(曲がり)という現象が発生することがあります。

「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について
ご使用の環境や設置場所によって、「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法としては、次の点にご注意ください。
①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、内装ドアに直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
②暖房の効率的な運転、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
③内装ドアに直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を掛けて日光を遮ってください。発生した「反り」は室内側と室外側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

製品の保証について
製品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理を約束するものです。詳しくは、下記ページを参照ください。
●対象製品
窓枠ドア、ヒアパブリック
●保証事項
通常の環境下で、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がされている製品(保証対象)で、弊社の責任に起因する製品不具合(保証期間内)の不良を修理します。尚、本内容は日本国内においてのみ有効です。
●保証期間
製品施工完了後2年とさせていただきます。弊社製品の施工完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不良を、無料で修理する期間となります。保証期間経過後の修理については有料となります。
●製品の不良原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外となります。
①個物の設計・加工・施工に起因する不良
②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不良
③自然現象・周辺環境等(※1)の不可抗力に起因する腐食、錆、剥離又はその他の不具合
④室内外的な湿度差が著しく過剰に及びられたことによる膨張・反り・歪みなどの不具合
⑤地震・台風・暴風・大雪・多湿となる環境に及びられたことによる不具合
⑥建物自体の変形、入居後における改修や改修等に起因する不具合
⑦火災又は第三者の不慮の発生又は他種被害等に起因する不具合
⑧地震・台風・暴風・大雪・多湿となる環境に起因する不具合
⑨保証期間経過後の申し込み、または不具合発生後速やかに申し込まなかった場合
⑩製造時に使用されていた技術でも修理することが不可能な事象に起因する場合
●修理などのご連絡へは、出張を要する修理を行う場合、出張に要する費用(その他当該不具合の原因が弊社に非なる限り)を別途ご負担いただきます。
※1・大気・地震・水害・暴風など天災地変や、公害・塩害・ガスや異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

ユーザー登録サービス

このたびは DAIKEN 製品をお求めいただき誠にありがとうございます。製品を末永く安全にご使用いただくために、ユーザー登録をお願いいたします。ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報を DAIKEN からご連絡する際に、ご利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です!!
登録はこちらから <https://www.daiken.jp/qr/user/>

特典 パーツショップ製品10%割引
ご登録いただく、DAIKENのパーツショップ製品を通常価格の10%割引でご購入いただけます。

お問い合わせ窓口について

- 製品に関する取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター
0120-787-505
(フリーダイヤル)
●受付時間:平日9:00~17:00
(土・日・祭日・年末年始・お盆休みは受付できません)

修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。
※購入には登録が必要です。
<https://www.daiken.jp/qr/service/>
[DAIKENホームページ] お客さまサポート
▶▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

大建工業株式会社 DAIKENのホームページアドレス <https://www.daiken.jp/>

1. 開口部への枠の取付

- ① 枠を開口部にはめて、丁番側の枠の上側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。
- ② 下げ振りをを使って垂直をだしてから、丁番側の枠の下側丁番ベース中央部の戸当り溝を枠調整ビスで仮固定してください。
- ③ 水準器で上枠の水平を見ながらラッチ側の枠の上部を枠調整ビスで仮固定してください。
- ④ 下げ振りをを使って垂直をだしてから、ラッチ側の枠の下側を枠調整ビスで仮固定してください。
- ⑤ 枠の左右調整は次の様に行ってください。
①②③④部分のスペーサーは下図のようにビスの上下に入れてください。
① 必ずスペーサーに木工ボンド(現場手配)を塗ってください。

木軸の場合
枠調整ビス(同梱品)

軽鋼鉄骨の場合
12mm合板(現場手配品)

皿タッピンビス
長さ50mm以上(現場手配品)

○ 枠の前後、左右のたわみがなく様に調整後スペーサーをして、残りの枠調整ビスで本固定してください。

⑦ 枠の前後、左右のたわみがなく様に調整後スペーサーをして、残りの枠調整ビスで本固定してください。

230710-IN-189LD-KAP-STM 6

1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

弊社製品を長時間安全に使えるよう施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

- 警告表示の種類と内容**
- 警告** 誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容
 - 注意** 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容

本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。

- してはいけない内容です
- 必ず実行していただく内容です
- お願い 留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法等

施工上のご注意

注意
風の強い地域や、吹き抜け、高層階でガラスを取り付けるときは、ドアストッパーを使用してください。
— ヒアパブリックには使用できません
— 強くドアが閉まると衝撃でガラスが割れるおそれがあります。
— ドアストッパーを取り付ける場合、ドア先端部に取付けてください。

● ヒアパブリックは、一般住宅、それに準じる公共商業施設用の室内用ドアです。他の用途へのご使用はおやめください。

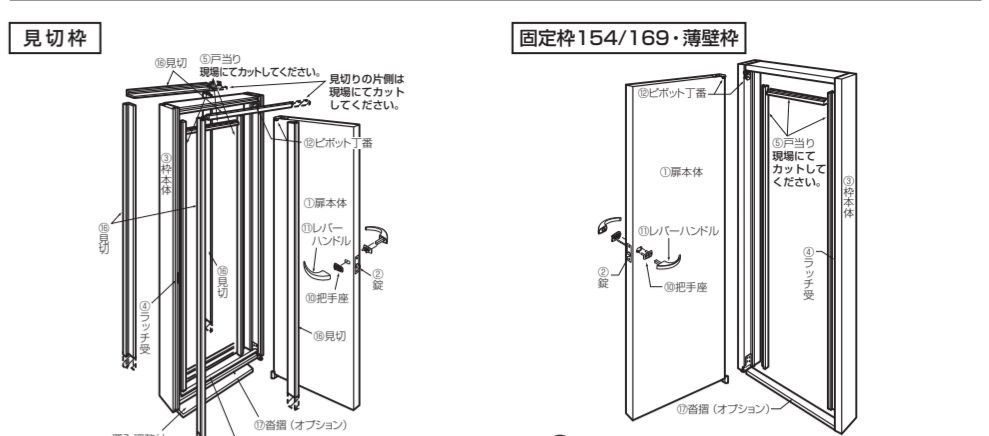
● 枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。
— 扉が開まらない原因となります。たおれたいこ つまみ 傾き ねじれ
● 窓番、敷居をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、窓番、敷居と床面の間に必ず防水処理をしてください。
● 窓・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつかけたり、運搬時にひきずらないようご注意ください。
— 傷をつけるおそれがあります。
● 工事が完了するまでの間、扉は壁にたけて保護しないでください。
● 照明灯、ストープ等を近づけすぎないでください。熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。
● 養生テープを直接製品に貼らないでください。表面化粧がはがれたり、接着剤が残る可能性があります。
● ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。
— 製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

お手入れの方法

● 扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、優しく拭いてください。シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。

230710-IN-189LD-KAP-STM 3

2. 全体図



● 2000高タイプの場合は、縦枠はカットしないでください。正寸カット済みです。
● 1800高タイプの場合は、現場の納まりにあわせ、縦枠下端をカットしてご使用ください。
● 1800高タイプは2022年6月21日廃番。

3. 部材・部品表 (施工前に必ず部品を確認してください。)

扉セット	部品名称	数量	備考	丁番セット	部品名称	数量	備考
①	扉本体	1		①	丁番本体	2	上下用 各1セット
②	錠	1	扉本体に取付済	②	カバー	2	上下用 各1個
③	枠本体	1	3方枠(縦枠2上枠1)	③	ラッチ受座	1	上下用 各1セット
④	ラッチ受	1	扉本体に取付済	④	戸当り	縦用2 横用1	縦用クッション有:1本 クッション無:1本
⑤	戸当り	縦用2 横用1	縦用クッション有:1本 クッション無:1本	⑤	枠組立ビス	4	φ4.2×50
⑥	金具	10	φ4.2×50	⑥	ラッチ調整ビス	10	φ5.3×55
⑦	ラッチ調整ビス	10	φ5.3×55	⑦	ラッチ調整ビス	10	φ5.3×55
⑧	戸当り用接着剤	1	必ずお施主様にお渡しください	⑧	ラッチ調整ビス	10	φ5.3×55
⑨	施工説明書・取扱説明書	1	必ずお施主様にお渡しください	⑨	ラッチ調整ビス	10	φ5.3×55

必要梱包

見切枠 扉セット+枠セット+把手セット+ピボット丁番セット+見切セット
固定枠154/169 扉セット+枠セット+把手セット+ピボット丁番セット
薄壁枠 扉セット+枠セット+把手セット+ピボット丁番セット
※沓摺を使われる場合は別途、沓摺セットが必要です。

230710-IN-189LD-KAP-STM 4

2. 丁番の取付・扉の吊り込み

イラストは全て右吊用で記載しております。左吊は左右対称になります。

(側例) 側例丁番を枠にビスで取付ける

しっかりビスを固定してください。脱落に繋がります。

側例丁番(上) 側例丁番(下)

側例丁番取付穴 φ3.5×30mm

側例丁番取付穴 φ3.5×30mm

側例丁番(上) 側例丁番(下)

側例丁番(上) 側例丁番(下)

1. 扉側丁番(上)のストッパーを 電動ドライバーで開く

2. 扉側丁番(下)の 電動ドライバーで開く

3. 扉側丁番(上)の軸受け を後ろから上軸に引っ掛ける

4. 扉側丁番(上)のストッパーを 電動ドライバーで閉じる

5. 調整する (→裏面「調整のしかた」)

6. 丁番カバー を取付ける

警告
● 沓摺等で干渉する場合は、側例丁番(下)のスペーサーは取外さないでください。丁番が変形し、扉が脱落するおそれがあります。
● ストッパーが開いたままにしないでください。
— カバーを確実にはめ込みできません。
— 扉が脱落する危険があります。
● 調整する(→裏面「調整のしかた」)

警告
● 丁番カバー(上)がしっかりと差込まれていることを確認してください。
— カバーがしっかりと差込まれていると、ストッパーが開いたら閉じられなくなる可能性があります。そのため、扉が脱落するおそれがあります。
— 手順4)に準じ、必ずストッパーが閉じられていることを確認し、カバーを付着してください。

230710-IN-189LD-KAP-STM 7

4. 吊元の決定

左吊元扉の場合は右の通りラッチの先端の向きを反転させてください。(※扉は出荷時は右吊元になっています)
ラッチカバーには上下があります。

①ビスをはずしてラッチカバーをはずします。
②ラッチ先端部だけを反転させます。
③ラッチカバーをビスで取付けます。

5. 戸当りの取付

戸当りを枠のサイズに合わせてカットしドア枠に接着してください。(必ず同種の戸当り用専用接着剤を使用してください。)
※クッション付はラッチ側枠に取り付けてください。
※クッションをドア側に向けて取り付けてください。
※戸当りは長めにしていますので破断寸、横断寸のいずれにも合致します。

6. 丁番の調整方法

裏面左上に記載しています。必ず調整を行ってください。

7. ラッチ受けの調整

調整ラッチ受座の操作方法 (調整可能範囲5mm)

扉がガタついたり、ラッチがかりにくい場合は、ラッチ受けを調整してください。時計回りに調整してください。

8. ドアクローザー (オプション) の取り付け

ドアクローザーを取り付けます。
※取り付け方法・調整方法はドアクローザーに同梱の取扱説明書をご覧ください。
※親子の子扉には取付できません。

施工上のご注意

- 閉じ速度は、ドア開き角度90°~0°までを5秒以内の適正速度にしてください。閉じ速度を遅くしすぎると、丁番を傷める原因となります。
- その他使用上のご注意は、ドアクローザーに同梱の「ドアクローザー付きドア使用上のご注意」を必ずご確認ください。

230710-IN-189LD-KAP-STM 8

4. 施工方法 (つづき)

9. 丁番の調整方法

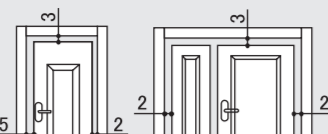
扉を開閉して、扉があたる場合は、丁番で扉の傾きを調整してください。調整には六角レンチを使用します。

お願い

調整は必ず手動で行ってください。

お願い

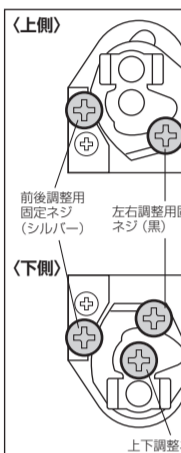
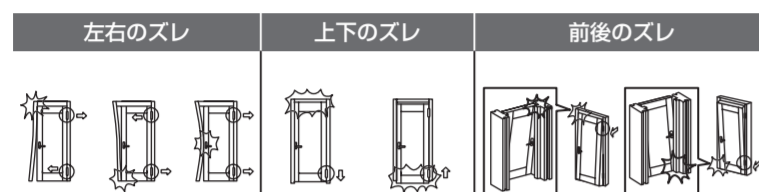
扉と枠のすき間が図の寸法になっているか確認し、大きく違う場合は、枠の建てつけ調整を再度行ってください。



警告

- 前後・左右調整用固定ネジをゆるめずないようにしてください。
- 前後調整・左右調整後、固定ネジは確実に締めてください。ゆるんでいると、使用中に丁番が破損したり、扉が脱落したりするおそれがあります。
- 調整の際、ドライバーを奥まで差込みすぎないように注意してください。扉にキズが付くおそれがあります。

扉を開閉して扉があたる場合
右表を確認して、扉側丁番(上・下)で扉の傾きを調整してください。



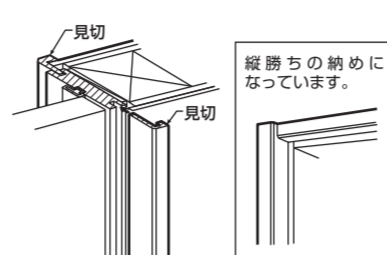
- 扉の傾きをゆるめる(1回転)
- 戸元側へ1mm移動可
- 戸元側へ3mm移動可
- 扉を開閉して調整する
- 上下調整は下丁番のみです。(ご注意) 扉を上側へ上げる場合、扉を持ち上げながら行ってください。扉の荷重によりネジが破損するおそれがあります。
- ドライバーをテコのように左右に動かし、カムを作用させて調整する
- 左右調整用固定ネジ(黒)を締める

10. 見切の取付

見切枠の場合

壁の施工が終了してから、見切を取付けてください。
見切に木工ボンド(現場手配)を塗布してください。その際、ラッチ受座位置の部分には塗布しないでください。ラッチ受けの調整ができなくなる場合があります。

※見切は現場にて現物合せしてカットしてください。

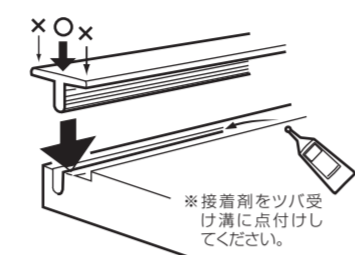


11. T型エッジの取付

沓摺の場合

T型エッジをツバ(受け)に差し込んでください。T型エッジは長めで同梱されていますので枠内寸法にカットして使用してください。
※T型エッジのまん中を押してはめてください。

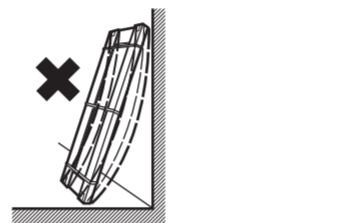
T型エッジを差し込む場合は床面との隙間が出ない様に施工してください。隙間がある場合、T型エッジが割れる場合があります。



12. 養生

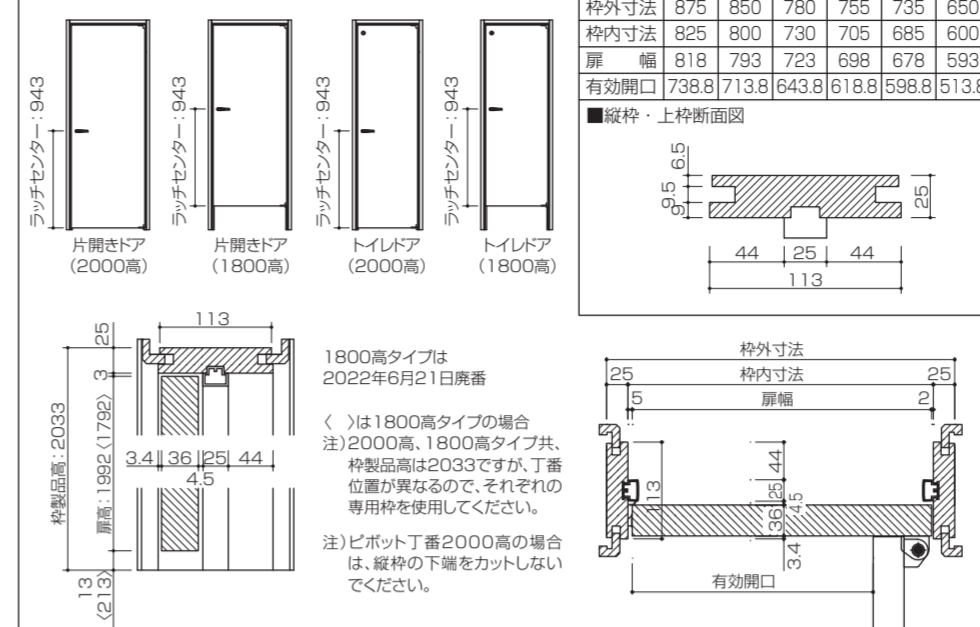
工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。金具は布・ビラマットなどで養生してください。

- 養生テープを直接製品に貼らないでください。表面化粧がはがれたり、接着剤が残る可能性があります。
- 扉を壁にたてかけて保管しないでください。

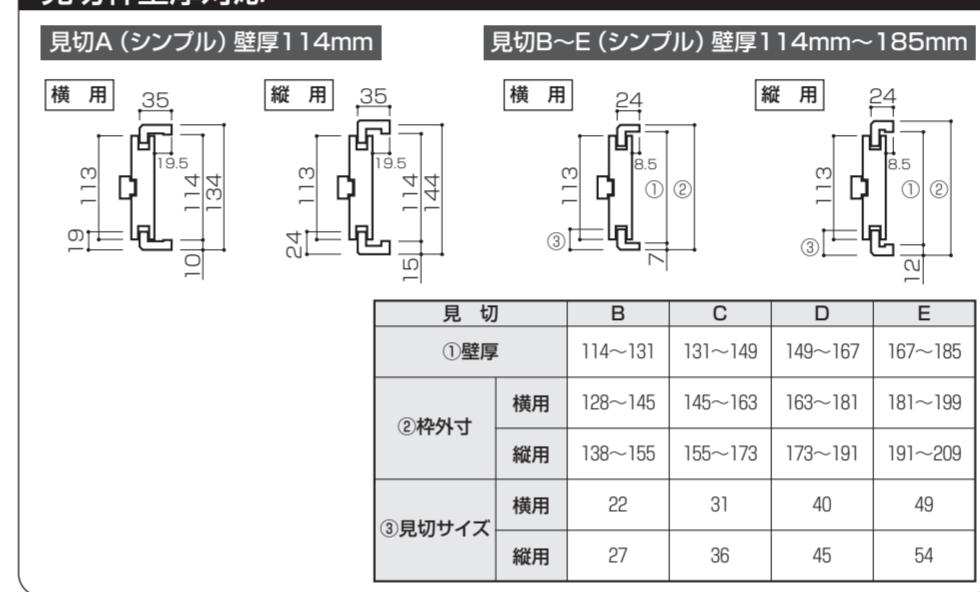


5. 寸法図 [見切枠]

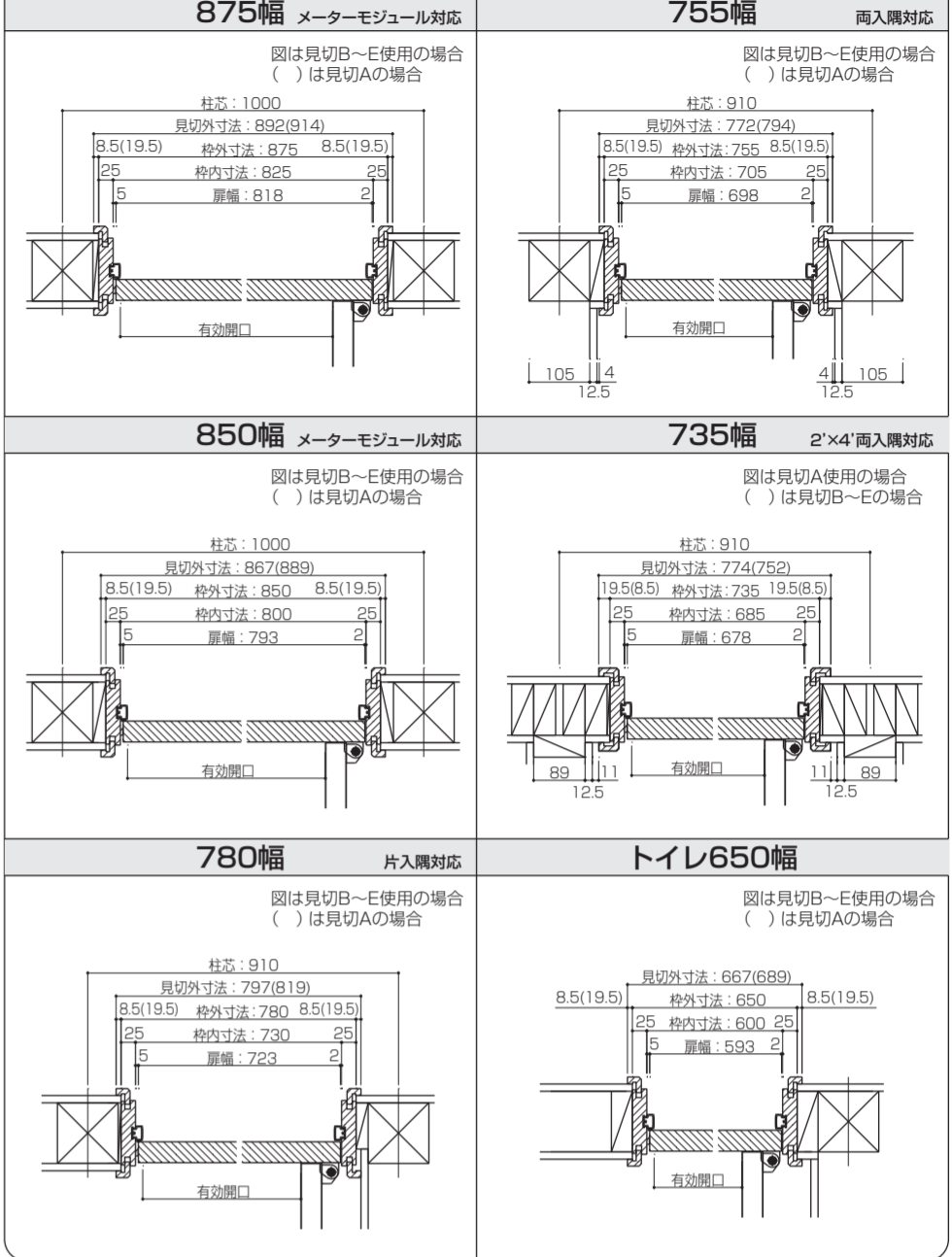
片開き・トイレドア寸法図



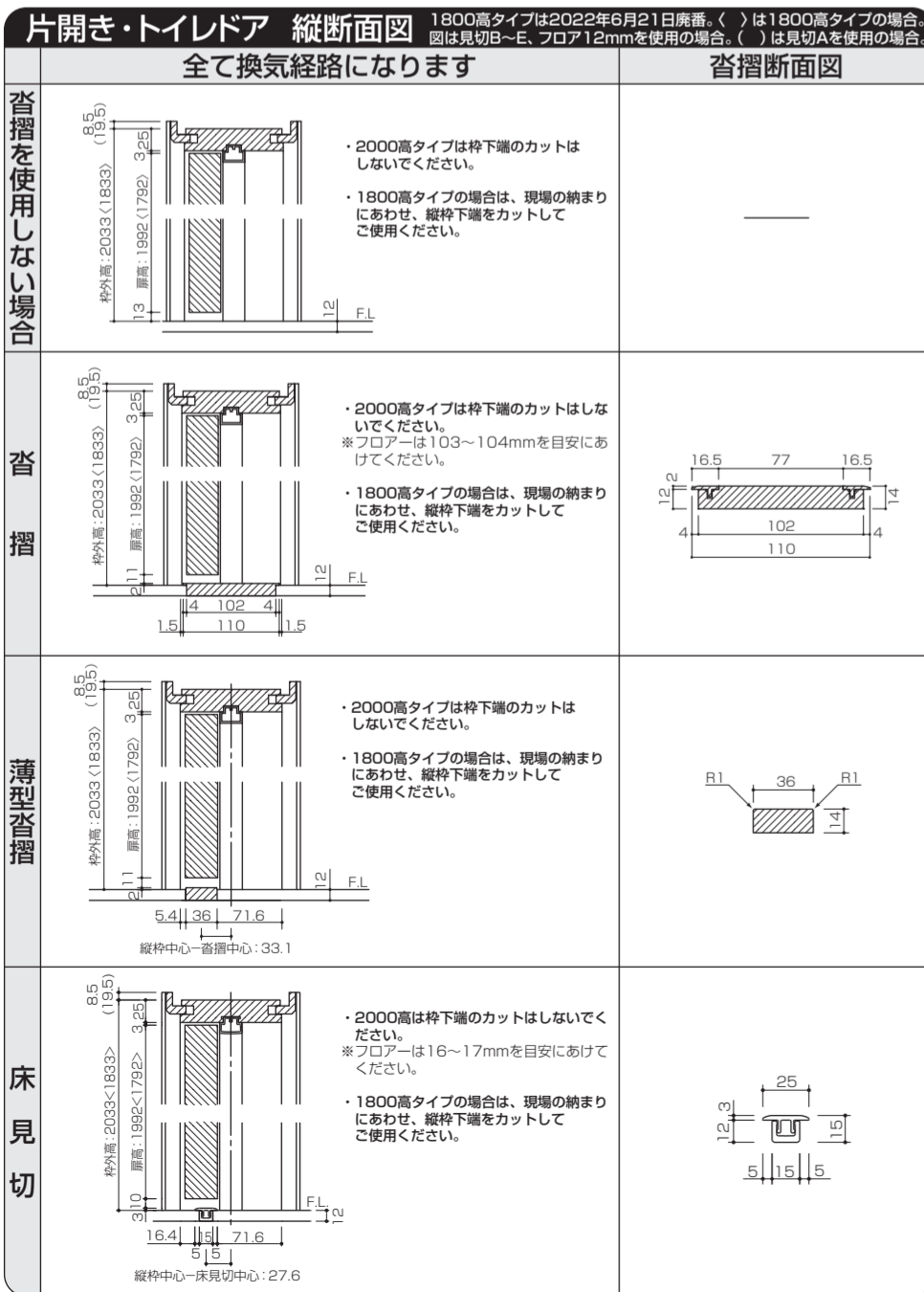
見切枠壁厚対応



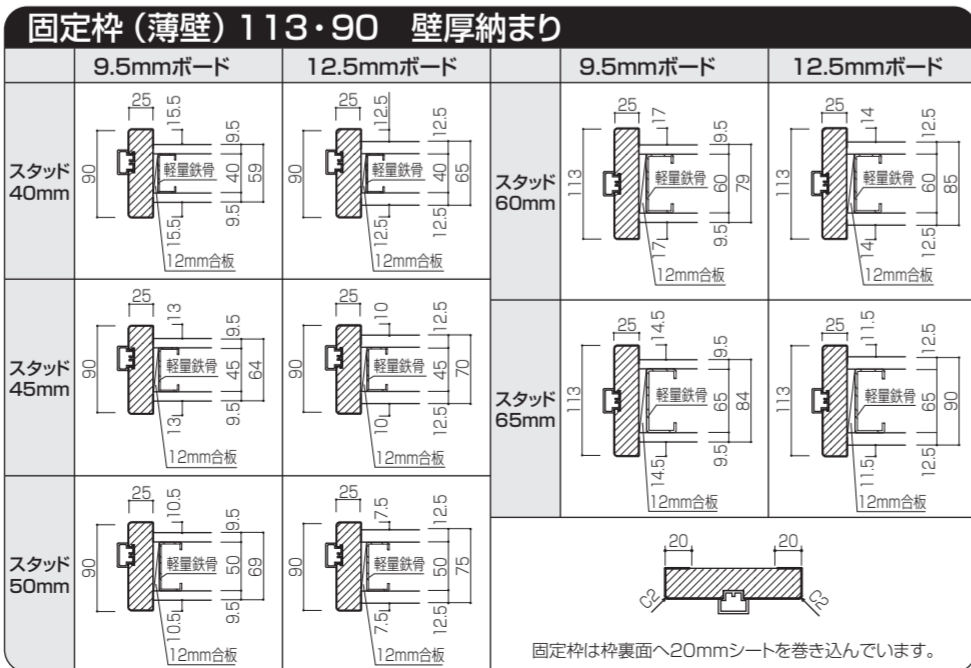
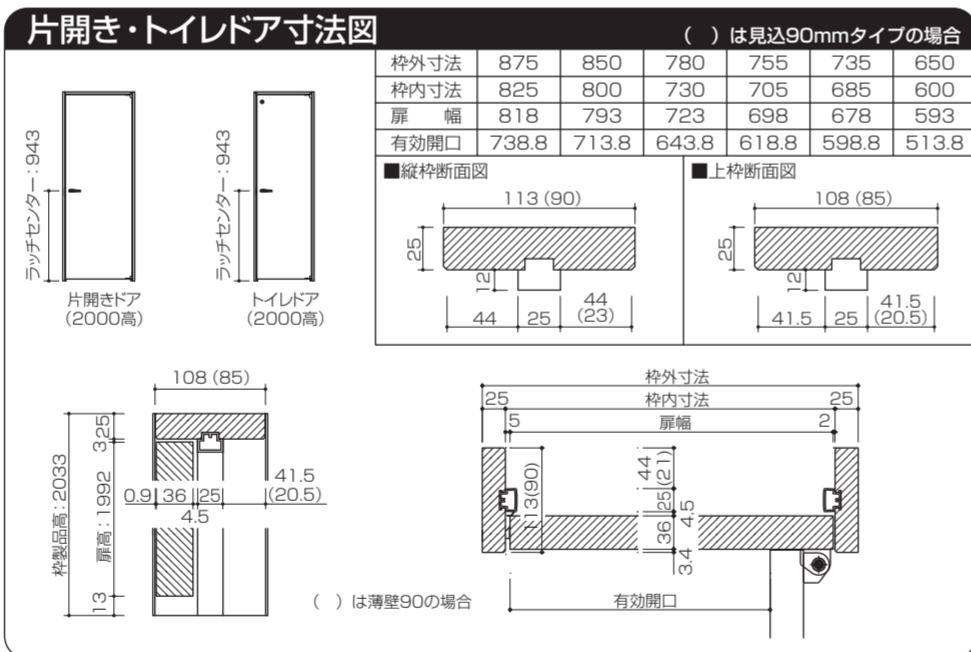
片開き・トイレドアのモジュール納まり



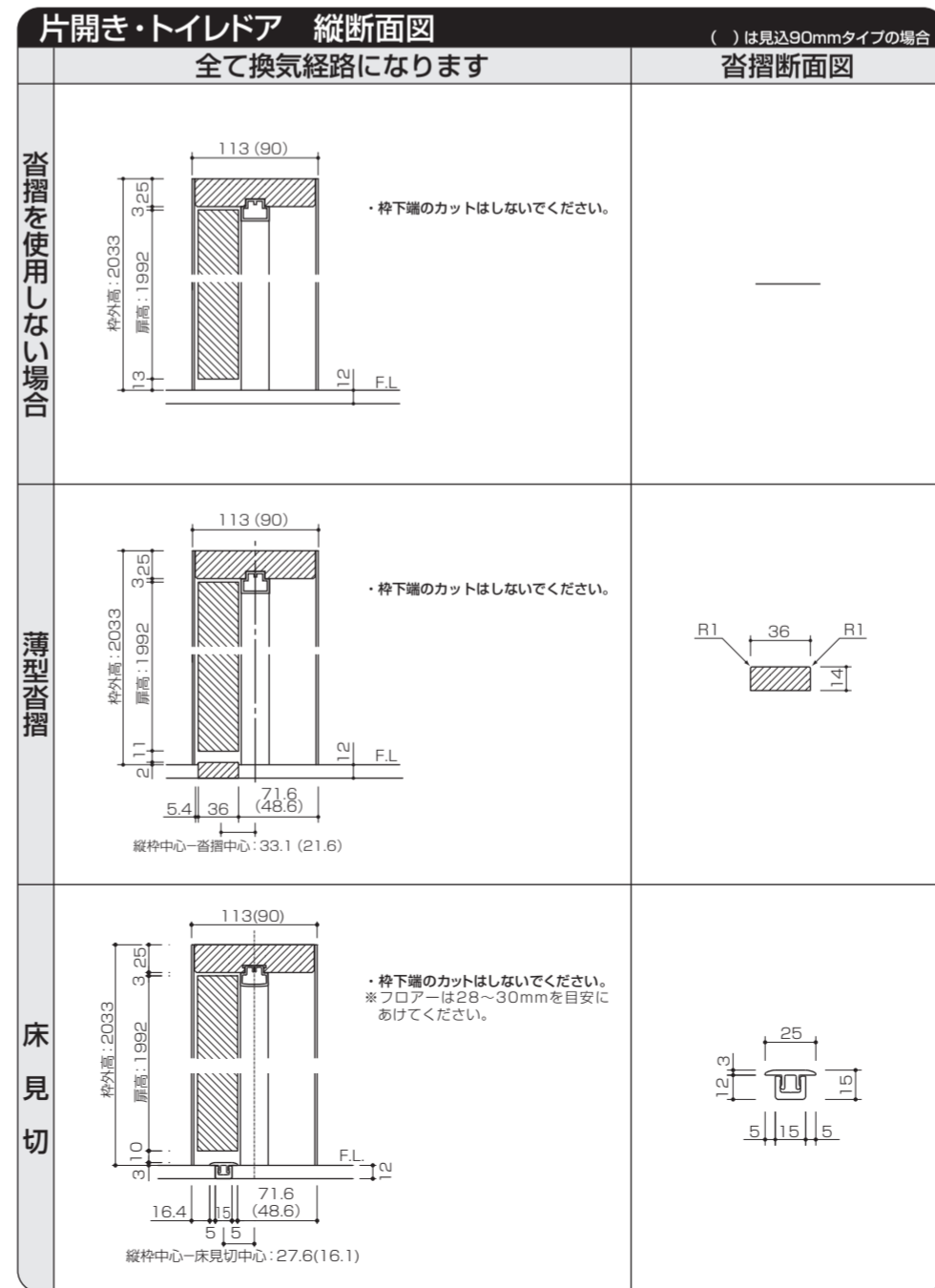
※枠は床に上のせて施工してください。



【固定枠(薄壁) 113・90】



※枠は床に上のせて施工してください。



【固定枠 154・169】

※枠は床に上のせて施工してください。

